

令和3年度第1回全校集会（7月） 校長講話

皆さん こんにちは。気温も高く、じめじめした日が続いていますが、皆さん元気に頑張っていますか。ニュースで何度も報じられていますが、土曜日に静岡県の熱海という温泉で有名な観光地で、大雨で山が崩れて大変な災害が起きました。昨年と同じ時期にも、熊本県で洪水が起こってみんなで黙とうをさせていただきました。毎年、日本のどこかで大雨による災害が発生しています。今週は梅雨末期で雨が降る日が多くなりそうなので、私たちも十分気を付けたいと思います。

さて今日は第1回の全校集会ですが、昨年とは何か違いますね。そうです。昨年の6回の全校集会は、校長先生の話が全部放送でしたが、今年は話している姿をライブ中継できることになりました。残念ながら皆さんの姿は見えませんが、校長先生はマスクも外して話しますので、画面をよく見て話を聞いてください。

今日はまずこの絵本を見てください。この絵本を知っていますか。自分で読んだり、読んでもらったことがある人は手を挙げてください。ここにも書いてあるように『はらぺこあおむし』という絵本です。表紙の「あおむし」が大きくて色もきれいですね。校長先生のうちには子供が小さいころ読み聞かせをしていたので、たくさん絵本があります。この『はらぺこあおむし』は子どもたちのお気に入り、何度も読み聞かせをしました。この絵本がアメリカで最初に出版されたのが1969年、なんと校長先生が5歳の時です。日本では今から45年前に発行されて、今でも年間25万部以上売れるすごく人気のある絵本です。このようにみんなから愛され続けている絵本を描いた生みの親であるエリック・カールさんが、先日91歳でお亡くなりになりました。そこで校長先生も久しぶりに『はらぺこあおむし』を開いてみました。

昔も今も印象に残るのは、きれいで鮮やかな色彩です。カールさんが6歳の時に第二次世界大戦という大きな戦争が起こって、街の風景が灰色になってしまったそうです。大人になったカールさんは、子どもたちに自由で明るい気持ちになってもらうために、色鮮やかな絵を描くようになったそうです。

それからこの「穴」です。あおむしの食べたあとに穴が開いています。よりわかりやすく子どもが喜ぶための「仕掛け」です。アメリカでは普通の絵本と違って、印刷するのに高いお金が必要なので、印刷してくれる会社が見つかりませんでした。そうした中でうちが印刷しますと手を挙げたのが、なんと日本の会社だったのです。日本人として嬉しいお話ですね。

それでは、せっかくの機会なので久しぶりに『はらぺこあおむし』を読みたいと思います。

【『はらぺこあおむし』読み聞かせ】

あおむしは、ちょうちょになれてよかったですね。絵本を読むと穏やかな気持ちになりますね。皆さんもぜひ身近にある絵本を読んでください。一度読んだことのある絵本でも新しい発見があるかもしれません。

この後、児童生徒会から「感じのいいひと」や「挨拶の仕方」についてのお話があります。これからもみんなで挨拶をして、もっと「感じのいい学校」にしていきたいと思います。これで校長先生の話が終わります。